

招集期日	平成27年7月16日(木)		開会の場所	教育委員室
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後1時30分	開会者	委員長
	閉会の時刻	午後2時40分	閉会者	委員長
委員出席状況				
氏名	摘要	氏名	摘要	
石井康三	出席	春山教子	出席	
岩本一盛	出席	小島敏之	出席	
古市明	出席			
議事参与者及び 説明のための出席者	山畑学校教育部長	斉藤生涯学習部長	岡戸教育総務課長	米川学校給食センター所長
	池澤生涯学習課長	赤坂スポーツ振興課長	加藤図書館長兼郷土資料館長	
書記名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開会		7月定例教育委員会を開会		
日程第1 前回会議録の承認	石井委員長	教育委員会の会議は、原則公開である。今回の日程で、非公開案件はないため、すべて公開することについて諮った。  異議なしの声あり。		
	石井委員長	前回の定例教育委員会の会議録の承認について諮った。  異議なしの声あり。		
日程第2 報告事項1 平成27年6月定例市 議会提出(教育委員 会関係)議案等につ いて	石井委員長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	生涯学習部長	報告事項1について、生涯学習部長より説明を求めた。  中島議員から、平成27年度補正予算についての議案質疑があった。永明寺古墳が本年3月に県指定の史跡として指定されたことを受け、県指定であることを表示する石造りの標柱を設置するとともに文化財の説明板を書き換える等の予算として、87万		

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 平成27年羽生市教育委員会後援名義の承認等の状況について (1月～6月分)</p>	<p>石井委員長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>1千円を計上したものである旨の答弁をした。</p> <p>永沼議員からは、市体育館の柔剣道場等の空調設備の整備について一般質問があった。まず、市体育館に空調設備を設置する場合、整備費用がどのくらいかかるかを説明し、設置については施設の稼働率も考慮し、利用者団体と十分協議を行い、検討したいと答えた。また、空調設備を設置した場合の利用ガイドラインの策定や設備の利用料金を設定する考えがあるかとの質問についても、利用者に直接関わるため十分な検討を要する旨、答弁した。</p> <p>報告事項2について、教育総務課長より説明を求めた。</p> <p>羽生市教育委員会後援等名義の使用承認及び羽生市教育委員会教育長賞の交付に関する要綱第15条の規定に基づき、各課における後援名義の承認等の状況を報告する。後援名義の使用については、学校教育課4件、生涯学習課13件、スポーツ振興課16件の申請があり、全件承認した。教育長賞の交付は、教育総務課1件、スポーツ振興課2件の申請があり、全件承認した。</p>
<p>報告事項3 平成27年度アドバンススクール審査結果について</p>	<p>石井委員長</p> <p>学校教育部長</p>	<p>報告事項3について、学校教育部長より説明を求めた。</p> <p>アドバンススクールは、各小中学校の研究内容、取組みをプレゼンテーションし、順位付けをして研究費を交付する事業であり、今年度で5回目の実施となる。5回目にして全14校がコンペに参加したが、各校とも研究のレベルが上がり、プレゼンテーションも甲乙つけ難いものであった。第一次審査で6校に絞られ、二次審査で順位を決定した。ベストアドバンススクールは川俣小学校、交付金は50万円。次いでベターアドバンススクールは井泉小学校と村君小学校、交付金は20万円ずつ。グッドアドバンススクールは須影小学校、羽生南小学校、南中学校、交付金は各10万円。ベストアドバンススクールとなった川俣小学校は、思考力・表現力・判断力の育成が研究のメインテーマであり、具体的</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 学校給食への「フィリピン共和国・ベルギー王国料理」の導入について</p>	<p>石井委員長</p> <p>給食センター所長</p>	<p>には他校とのテレビ会議を行うという斬新なものがあった。児童数の少ない学校は交流機会が減ってしまいがちだが、他校とテレビ会議、テレビ授業が出来れば、学校に居ながら多くの生徒と交流ができ、体験を積むことができ、学習効率も上がるであろうという考えで研究に取り組む事が評価された。</p> <p>報告事項4について、給食センター所長より説明を求めた。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受け、食べ物から国際感覚を実体験することをねらいとして、子どもたちにフィリピン共和国・ベルギー王国の料理を学校給食として提供し、姉妹都市のバギオ市、デュルビュイ市を身近に感じてもらう一助とする。フィリピン共和国の料理は7月15日に実施した。シニガンは魚介を煮込んだ酸味のあるスープで、今回は海老を使用した。リンピアはフィリピンの春巻で、皮は米の粉で作ったものである。パンシットビーフンはフィリピン風ビーフンである。ビーフンは日本でも親しみがあるが、これも米の粉で作ったものである。その他、ご飯と牛乳で5品目の献立とした。隠し味の香辛料は、子ども達の味覚に合わせるため、使用量を抑えて調理した。11月にはベルギー王国の料理を予定している。ベルギー王国は北海に面しており、魚介の豊富な国である。出来るだけムール貝を使った料理を出したいと考えている。そのほか、日本ではフライドポテトとして知られているフリッツとベルギーワッフル、加えてパンと牛乳の5品目の献立を予定している。</p>
<p>報告事項5 高校生インストラクター講座の開催について</p>	<p>石井委員長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>報告事項5から8について、生涯学習課長より説明を求めた。</p> <p>羽生実業高校コンピューター部部員に協力していただき、9月5日に開催する。コンピューターを使って、オリジナルのカレンダー作りを行う。市内在中、在勤、在学の方を対象とし、募集人数は20名、8月広報に掲載して周知する。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 「宝蔵寺沼ムジナモ自生地」見学会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>ムジナモ自生地については、ムジナモが昨年に比べ10倍位に増えている状況である。8月22日に三田ヶ谷農村センターに集合し、自生地の見学会を実施する。募集人数は30名、8月広報に掲載して周知する。昨年は10月に実施したが、今回は夏休み中期間となるため、児童生徒の参加も期待している。</p>
<p>報告事項7 「羽生学講座Ⅴ」の開講について</p>	生涯学習課長	<p>今回は「羽生城」についての講座となる。羽生城については資料が少ない中、県内の他の城の様相から羽生城について学ぶ。9月5日から10月31日までの全5回、募集人数は20名とし、8月広報に掲載して周知する。</p>
<p>報告事項8 市指定文化財「羽生の獅子舞」現地見学会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>毎年実施している見学会である。下手子林の獅子舞が9月12日、午後6時30分に奉納を予定し、公民館近くの豊武神社で行う。桑崎の獅子舞は9月27日午前11時、桑崎三神社で奉納の予定である。募集人数は最大50名、8月広報に掲載して周知する。</p>
<p>報告事項9 日本フロアカーリング協会公認全国フロアカーリング大会in羽生の結果について</p>	石井委員長	<p>報告事項9について、スポーツ振興課長より説明を求めた。</p> <p>6月20日に羽生市体育館メインアリーナ・サブアリーナにおいて開催した。参加チームは、112チームの申込があったがコート数の関係もあり、先着108チームとした。市内59チーム、市外49チームが出場、フロアカーリング発祥の地でもある北海道新得町からも参加があった。予選リーグの順位1位から6位のグループでそれぞれトーナメント戦を行い、1位グループの優勝、準優勝はどちらも加須市のチームとなった。小学生から高齢者まで和気あいあいと和やかな雰囲気競技が行われた。参加者全員によるお楽しみ抽選会では、羽生市のPRグッズを商品として抽選を行ったが、新得町からも、特産品の協賛があり、大会を盛り上げることができた。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項10 その他	石井委員長	その他の報告事項を求めた。
	図書館兼郷土資料館長	5月定例教育委員会で空調設備改修工事中の臨時休館について承認いただいたが、7月については15日に臨時休館した。14日の通常の休館日と合わせて、2日続けて空調室外機の搬入、据付を行った。天候にも恵まれ無事据付完了した。利用者には6月、7月と臨時休館でご迷惑をかけたが、なるべく早く運用できるように工事を進めたいと思う。
	石井委員長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	古市委員	給食のフィリピン料理は、非常に素晴らしく、本当に食べている気になるような、詳しい説明をいただいた。暑い時には、インドのカレーや香辛料を使用したものが美味しく感じるような気がする。ベルギー料理の時も頑張っていたきたい。報告の文面や説明を聞いていると、非常に長い時間をかけて一つのもののできあがったことが伝わってきた。
	春山委員	アドバンススクールの審査結果についてだが、全部の小中学校が応募し、最先端の教育に取り組むことにより、それぞれの学校の課題がはっきりしていくと思う。
教育長	来年4月から施行される学校教育法の改正により、「義務教育学校」が追加された。今までは小中一貫の学校を作るには、特別区を設定しなければいけなかったが学校教育法で義務教育学校が規定されることにより、その理念と状況と財政が合えば、どこの地域でも小中一貫校をつくれる状況ができあがった。小中一貫校の設立には、それだけの環境がないといけない。例えば廃校になった学校や、統合され空いた学校等を使用して小学校と中学校が併設した形で一貫校を作る考え方と、校舎の確保が難しい場合は、テレビ電話やICTを活用して複数の学校をひとつにまとめて共	

会議事件名	て ん 末	
		<p>同授業を行ったり、バスを利用し小中学校間の行き来をしたり、積極的な子ども達の動きをつくっていく。小中一貫校の特色として9年間のカリキュラムを組むことになるため、学年の区分も6年、3年とせず、例えば、3・3・3、4・2・3等、9年間をどういう形で構成していくか独自に設定できる利点がある。小中一貫校では中一ギャップを無くしていくことも可能であると考え。現在の羽生市は新たに校舎を建設するのは難しいため、ICTの活用や、テレビ会議、テレビ授業を活用した教育を研究する川俣小学校がベストアドバンススクールに選ばれたと思う。</p>
	学校教育部長	インターネットを使えば外国とも交流が可能となる。
	教育長	<p>まずは川俣小学校と村君小学校を繋げるとよいと思う。小さな学校同士を繋げてある程度の形にし、成功すれば、次は全小学校、小学校と中学校が繋がるように取り組んでいく。既に学校には様々な機器類があり、費用はあまりかからないかもしれない。</p>
	春山委員	小中一貫教育の推進は、交流することだけでなく、卒業までを見とおした上でのカリキュラム、中身も大切ということであるか。
	学校教育部長	中学校区ごとに、小学校、中学校が協力してカリキュラムを作った。それをふまえ、各校の教職員が学校間を行き来し、日頃から交流を持ち、研修も一緒に行っている。
	教育長	小学校では何をしているのか、中学校では何をしているのか情報を共有していく。小学6年生と中学1年生とをいかに繋げるかが大切である。
	学校教育部長	指導案には、「小中一貫教育の視点」の項目があり、これは羽生市独自のものである。小学校で行うこの授業は、中学校のこの部分に将来繋がるということを意識し行おうということである。日頃から一緒にカリキュラム作りを行っているからこれが出る。

会議事件名	て ん 末	
	古市委員	<p>タブレット端末の活用が普及してきたが、子ども達の学力向上に特に効果のある状況はあるか。</p>
	学校教育部長	<p>羽生市のタブレットを使った授業研究はまだ初歩的な段階であると思う。授業の目標を達成し、その教科の学力を上げる。これを少しでも効果的に行うためのひとつの手段としてタブレットを使う。そのような意味でタブレットを使った授業研究の成果が出て欲しいと思う。タブレットを使うと常識が変わる。須影小学校で研究を率先して行っている先生がタブレットを使った理科の授業を見せてくれた。例えば、顕微鏡でメダカの卵を観察する場合、これまでは順番で顕微鏡を覗いていたが、これをタブレットに映すことにより、数人のグループで一緒に見て、卵はこれだと画面上に印をつけたり、映像を無線で送りテレビで映し、他の子ども達と共有したりできる。そのようなことで学習の目的を効率的に達成できるというひとつの成果が見えた。</p>
	教育長	<p>例えば体育の時間にボール運動をする。それを動画で撮って、作戦タイムの時に子ども達が、先ほどの動きを振り返ってみることができる。今後はタブレットの使用により先生の授業をいかに補助できるか研究し、学習効果を高める器具として使うほうがよいと考える。また、タブレットを使用することにより、さまざまな疑似体験が出来るため、そのような使い方が今後増えていくのではないかと考える。学習効果を考える場合、学力の向上は、「理解した」ということからスタートするため、タブレットはいろいろなものを可視化できるため、効果的に理解するための活用ができると思う。</p>
	学校教育部長	<p>あまり勉強が好きではない子の方が興味を示す。班ごとの学習では、そのような子が率先して行う傾向がある。</p>
	古市委員	<p>学力の格差をなくす効果があるのではないかと。</p>
	教育長	<p>可視化されたものを見て、そうかと気がつく子もいる。そのような子にとっては非常にプラスとなる。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第44号 第2次羽生市子ども 読書活動推進計画策 定委員会設置要綱</p>	春山委員	南中学校の21世紀型スキルとはどのようなものか。
	学校教育部長	同じくタブレットを使った授業研究をしていこうという事である。各教科で、タブレットを使い目に見える形で、生徒の意欲、関心を高めながら授業を行っていこうということである。生徒がタブレットを使い学習、発表する時代という意味を込め、「21世紀型スキル」と呼ぶ。
	石井委員長	報告事項について、よろしいか。  異議なしの声あり。
	石井委員長	議案第44号について、生涯学習課長より説明を求めた。
	生涯学習課長	子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、第2次羽生市子ども読書活動推進計画を策定するための委員会についての設置要綱である。第1次羽生市子ども読書活動推進計画の期間は、平成27年度までとなっている。第2条においてその所掌事務、第3条は9名の委員の構成について規定している。8月1日から施行する予定である。
	石井委員長	議案第44号について、質問・意見を求めた。
	教育長	第1次はどのような状況であったか。
	生涯学習課長	第1次計画期間では、市職員を中心とした委員で、図書館や保育所関係からアンケートをとり、現状と課題を抽出して基本的な考え方をまとめ進めている。近年、活字離れが進みスマホ等の利



会議事件名	て ん 末	
		<p>用が増えている状況でも活字によって記憶に残していく、本によって学ぶことも必要であると考え、第2次計画では市職員以外の学校教育、社会教育や児童福祉関係者等の委員を委嘱し、意見を聞きながら進めて行きたいと考えている。</p> <p>古市委員 生涯学習課で庶務を行うとの事だが、図書館とも連携していただければと思う。図書館には読むための本以外にも色々な資料があり、調べ物をするという機能もあると思う。今はインターネットで手軽に検索できるが、インターネットで検索するものには間違った情報もある。これと比較し、図書館には確実性の高い情報がある。その辺りの図書館の役割について議題にあがると良いと思う。</p> <p>生涯学習課長 図書館と連携しての家庭における読書活動の推進も第1次計画のポイントであった。学校でも司書が配置され、こちらとの連携が必要であると考えている。</p> <p>古市委員 学校の図書館もあるため、学校教育課とも連携していただければと思う。三郷市で、学校で先進的なことを行っているのを視察して感銘を受けたと、PTA連合会の人から聞いた。</p> <p>教育長 三郷市の場合は、学校だけでなく町全体がこの法律の施行により、すぐ動き出した。羽生市の場合は、計画策定委員会を設置したが、うまく機能していない部分もあった。今度は市職員以外の委員を入れて、図書館、学校、公民館等、全部を包括し羽生の子ども読書はどうあるべきか、提言できるような組織としていきたい。</p> <p>岩本委員 未就学の保育園、幼稚園の園児、また未就園児に対して等、全体で取り組むという三郷市の例であったが、子ども達が小さいうちから読書に触れることは大事である。例えば保育園でも親子の読書を推奨してみたり、本の貸出を試してみたり、お金をかけなくてもできることはあるため、色々な機関に声を掛け、考え方を共有して進めていければ良いと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>ブックスタートの事業を行っているが、ブックスタートは図書館で行う。図書館に来ない人達に本の良さを知ってもらうためには出前のブックスタートを行わないといけなくなる。学校で行っているブックトークは、図書館の職員が学校に本を運び、行っている。重たい物を持つことも含めて出前を職員だけで行うことは大変である。図書館運営委員会でも、これらの事業をボランティアの活用により行えれば良いという話題があった。計画策定委員会もこのようなことを提言していく委員会であって欲しい。</p>
	春山委員	<p>子どもに読書を好きになってもらおうと思ったら、学校、家庭、地域も一緒になり立ち上がる必要がある。以前、ある地域で公民館にある図書室に、夏休みに図書館から本を借りて来て、ボランティアの方が小学生が夏休みに読む本を届けてくれていた。図書やお話に関わるボランティアをしたいと思っている方もいるため、生涯学習の観点からも進めれば大きな運動になると思う。</p>
	岩本委員	<p>アドバンススクールでタブレット端末の活用についてのテーマがあり非常に良いと思ったが、タブレットは物事を立体的に見たり、映像等のビジュアル的な良さも沢山あるが、読書感想文を書くのにその文面を探してしまう等の情報検索ツールとしても利用できる面もあり、考えることをしなくなってしまう等の心配もある。辞書の良さは一覧性があり、類義語や文例も引けるため、思考が繋がる良さがあるが、インターネットの検索はピンポイントのため、それしかわからない。キーワードを入れると答えが出てくるため、考えなくなる。本にはタブレットには無い良さがあり、逆にタブレットの方が良い場合もある。両方をしっかり行うことが重要であると思う。</p>
	学校教育部長	<p>まったくその通りであり、タブレットを使った学習と読書どちらが良いか悪いかではなく、それぞれの良い所を活用していく。読書活動でベストアドバンススクールに選ばれた羽生南小学校が読書活動の推進について最先端を行っていると思う。三郷市の取組みを研究して取り入れている。児童全員が読書袋を持っており、図書館で本を借りる時に利用している。</p>

会議事件名	て ん 末	
	古市委員	<p>子ども達の読書もあるが、大人がどのような本を読むか、家庭の教育力も教育の格差を無くす上で必要なのではないか。本でなく、雑誌ばかり読んでいる親もいるが、図書に関するボランティアをやろうとする親もいる。本に対し意識の高い人と、低い人の差が大きいのではないかと感じる。</p>
	生涯学習課長	<p>タブレットも本も、それぞれの良さを活用できるように、意見を参考に生涯学習課としても進めていく。</p>
	石井委員長	<p>議案第 44 号についてはよろしいか。</p>
		<p>異議なしの声あり。</p>
	石井委員長	<p>議案第 44 号は可決された旨、宣した。</p>
	石井委員長	<p>次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>8 月定例教育委員会は、8 月 6 日（木）午後 1 時 30 分より教育委員室にて開催する。その後郷土資料館で開催している企画展をご覧になっていただく。</p>
	石井委員長	<p>閉会を宣した。</p>
		<p>委員長 _____</p>
		<p>委 員 _____</p>
		<p>委 員 _____</p>
		<p>書 記 _____</p>